



特定非営利活動法人

神戸日独協会会報

BERICHTE DER NPO JAPANISCH-DEUTSCHEN GESELLSCHAFT KOBE

Nr. 378

Januar 2023

NPO法人 神戸日独協会

〒651-0087

神戸市中央区御幸通8-1-6 神戸国際会館19F

TEL/FAX 078-230-8150

郵便振替 01160-9-18199

E-mail: info@jdg-kobe.org URL <http://www.jdg-kobe.org/>

NPO JAPANISCH-DEUTSCHE
GESELLSCHAFT KOBE

International House Kobe 19F

Goko-Dori 8-1-6 Chuo-Ku

651-0087 KOBE/JAPAN

新年ご挨拶

NPO法人神戸日独協会会長 栞田 義一

2023年の年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。新しい年が協会や会員の皆様にとって素晴らしい年になりますように心より祈念しております。

昨年も新型コロナウイルス感染は終息することなく第8波の拡大と共に新年を迎えました。Mit Coronaでの社会活動の復活の中、協会も対面形式による「オクトーバーフェスト in 神戸」「クリスマス祝賀会」などの行事、ドイツ語講座とドイツ文化教室、会員による諸サークル活動を従前のように行うことができました。多くの方にご参加をいただきまして、ありがとうございました。

昨年はロシアのウクライナ侵攻によるエネルギー不足と物価の高騰、インド・太平洋海域での中国の台頭による日米同盟関係の強化や日独間の軍事協力関係の新たな展開、「陰謀論」に影響された民主主義の危機、気候変動による干ばつ・森林火災・大洪水の発生など全世界的に政治・経済・社会情勢は大きな不安を抱え、これらは本年も収束しそうにはありません。

このような時代にこそ「国際理解と国際協力」の真価が発揮されるのでしょうか。そのためには情報を正しく受信し、自分の意見を正しく発信することが重要です。ドイツはヨーロッパの中心国ですので、まずはドイツを通じて今のヨーロッパを理解しましょう。協会はドイツ・ヨーロッパ理解のための機会をこれまで以上に提供していきます。

この3年間のコロナ禍のために協会は財政上・活動上大きな痛手を受けました。協会運営・財政の改善のために、本年は事務所の移転、講座・教室の抜本的な改変、運営組織の改善など大きな改革を予定しています。近年にない大改革を行います。現在協会の執行部と理事会にて準備を進めています。この改革は会員皆様のご意見が反映されたものでなければなりません。「月例懇談会」(毎月第3土曜日16:10～)にご出席いただいたり、メールや書簡によって、是非ともご意見をお寄せください。

協会は28年前の大震災時以来の正念場を迎えます。会員皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

Neujahrsgruß

Yoshikazu Masuda

Präsident der Japanisch-Deutschen Gesellschaft Kobe

Zum Jahresbeginn 2023 möchte ich allen Mitgliedern der Gesellschaft ein wunderbares Neues Jahr wünschen.

Wieder ist ein Jahr vergangen, ohne dass ein Ende der Pandemie abzusehen wäre. Das neue Jahr begann mit der Ausbreitung der nun 8. Ansteckungswelle. Ein Wiederbeleben sozialer Aktivitäten konnte nur "mit Corona" erfolgen, jedoch gelang es auch unter diesen Umständen, die Deutsch- und Kulturkurse sowie verschiedene Vereinsaktivitäten der Mitglieder wieder aufzunehmen. Auch konnte unser "Oktoberfest in Kobe" und unsere traditionelle Vorweihnachtsfeier veranstaltet werden, und ich möchte mich hiermit herzlich für die zahlreiche Teilnahme bedanken.

Das letzte Jahr war, was die politische, wirtschaftliche und soziale Lage betrifft, weltweit von großen Unsicherheiten geprägt. Energieknappheit und Preisanstieg infolge des Einmarsches Russlands in die Ukraine, eine Verstärkung des amerikanisch-japanischen Verteidigungsbündnisses sowie neue Entwicklungen in der militärischen Zusammenarbeit zwischen Japan und Deutschland infolge der verstärkten Präsenz Chinas im indopazifischen Raum, von Verschwörungstheorien angefachte Krisen in den Demokratien und die vom Klimawandel verursachten Dürren, Waldbrände und gewaltigen Überschwemmungen werden uns auch im neuen Jahr vor kaum lösbare Probleme stellen.

Gerade in diesen Zeiten wird sich auch der wahre Wert von Völkerverständigung und internationaler Zusammenarbeit zeigen. Dafür ist es unerlässlich, sich eigene Meinungen aufgrund authentischer Informationen zu bilden und diese auch richtig weiterzuvermitteln. Deutschland nimmt in Europa eine zentrale Rolle ein, und es lohnt sich, Deutschland als Ausgangspunkt für das Verständnis der heutigen Lage Europas heranzuziehen. Die Japanisch-Deutsche Gesellschaft Kobe wird sich in diesem Jahr wieder verstärkt darum bemühen, Gelegenheiten zu schaffen, dieses Verständnis zu vertiefen.

Die Corona-Krise der letzten drei Jahre stellte die Aktivitäten unserer Gesellschaft vor große finanzielle und verwaltungstechnische Probleme. Um hier Verbesserungen herbeizuführen, sind für dieses Jahr weitreichende Reformen geplant, darunter der Umzug des Büros, grundlegende Änderungen bei den Kursen und Lehrveranstaltungen sowie Verbesserungen der Verwaltungsstruktur. Der Exekutivausschuss und die Vorstandsversammlung haben diese Reformen bereits eingeleitet, wobei aber auch die Meinung und Mitarbeit aller Mitglieder der Gesellschaft unerlässlich ist. Daher bitten wir herzlich um die Teilnahme an den monatlichen Rundtischgesprächen (jeden dritten Samstag im Monat, Beginn: 16:10 Uhr). Selbstverständlich nehmen wir Ihre Meinungen und Anregungen auch gern per E-Mail oder brieflich entgegen.

Die Gesellschaft steht heute vor der größten Krise seit der Erdbebenkatastrophe vor 28 Jahren und ist vermehrt auf Ihr Verständnis und Ihre Mitarbeit angewiesen!

「数奇な運命の東ドイツポスター展」のご案内

(株)神戸新聞社教育事業戦略室長 富居 雅人

旧東ドイツ(ドイツ民主共和国)のアートポスターなどを集めた「数奇な運命の東ドイツポスター展」が、2月1日から神戸市兵庫区神田町の「いちばぎやらりい侑香」で開かれます。

これらのポスターは1989年秋、旧東ドイツが建国40周年を迎えた記念に同国関係団体から日本ドイツ民主共和国友好協会神戸支部に届き、神戸市内で展覧会が開かれたときに展示されたものです。直後にベルリンの壁が崩壊し、東西ドイツの統一によって行き場を失ったポスターは、その後人目に触れる機会もなく、ある映画プロデューサーのもとにありました。

記録映画の世界で数々の賞を受けたこのプロデューサーとともに活動した映画監督が一昨年に相次ぎ他界したのを受け、今回氏の生前のドイツとの関係を振り返りながら追悼の意を込めて開催されます。

舞台芸術の宣伝ポスターや著名なグラフィックデザイナーによる作品など約150点ありますが、そのうちの一部を展示予定で、東側の戦後の演劇史や芸術発展を知るうえで興味深い貴重な作品が楽しめます。

同展は2月10日まで。5日15時から「壁は見えなくなったけれど…」と題して富居が当時の思い出話などをお話します(要予約)。

日 時: 2023年2月1日(水)～10日(金)

場 所: いちばぎやらりい侑香

神戸市兵庫区神田町38-22 TEL:078-361-5055(11:00～17:00)

ブレヒトの傑作音楽劇「三文オペラ」をご覧になりませんか？

兵庫県立尼崎青少年創造劇場 ピッコロシアター劇団部 新倉 奈々子

兵庫県立ピッコロ劇団はピッコロシアタープロデュースとしてドイツの劇作家ベルトルト・ブレヒト(Bertolt Brecht)の代表作である戯曲「三文オペラ Die Dreigroschenoper」を公演します。

「三文オペラ」は、泥棒の頭目と自分の娘が彼と密かに結婚しようとしているのを知ってこれを妨害する乞食の王様との間に繰り広げられる騒動を通して、資本主義社会や人間の欲望と怠惰を痛烈に風刺した作品です。1928年に初演され、たびたび映画化もされています。今回は2000年代にカフカの小説を多数舞台化した演出家松本修氏の台本・演出による公演です。

公演日時: 2023年2月17日(金)～19日(日) (開演時間はパンフレットをご覧ください)

公演会場: 兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール

観劇料金: 神戸日独協会の皆様には、**優待料金**でご観劇いただけます(お連れ様含む)。

一般4500円→4000円／大学生・専門学校生3000円→2700円／
高校生以下2500円→2250円

申込方法：以下の①～⑤を gekidan-p@hyogo-arts.or.jp または FAX06-6426-1943まで
お送りください(件名を「三文オペラ」としてください)。

①氏名 ②電話番号・住所 ③観劇日時 ④券の種類・枚数

⑤「神戸日独協会扱い →手続き完了後、ピッコロ劇団より返信します。

申込締切：観劇希望日の3日前

詳しくは、同封のパンフレットをご覧ください。

会員の広場

このコーナーは、会報を通して会員相互の交流をしていただくための「広場」です。ご投稿をお待ち
しています。

(投稿規定：MSPゴシック12ポ、A4 1枚程度まで(多くの方に投稿していただくために、字数を
厳守してください)、添付にて毎月第3水曜までに事務局へ)

イエナ便り —ドイツの正月とロシアのクリスマス—

会員 竹中らら(イエナ在住)

2023年になりました。ドイツでは元旦にかけて花火をあげるのが恒例の行事となっています。12
月に入るとスーパーには個人使用の花火が多く売り出されて、年末には夕方頃から町の多くの
場所で若者が打ち上げ花火をしているのを目にしました。基本的に個人が大きな花火を打ち上げ
るのは禁止されていますが、元日には花火や人々の騒ぎによる人身・物損事故が多発し、ドイツ
各地で警察が出動しました。また街中や森のそばなど至るところに花火のごみが散乱しており問
題になっています。さてドイツは1月に入り寒さが和らぎ、先日6日には毎月満月の日に合わせて
夜のハイキングを行っている地元の人たちとともに、イエナの北西部の山の Napoleon-stein(18
06年の第四次対仏大同盟戦争中のイエナにおける戦いの記念碑が建っている)を目指し、満月
を鑑賞することができました。

ちょうどこの1月6日は、東方正教会のクリスマスにあたり、町の教会では夜の11時からミサが行
われました。私は残念ながら参加できませんでしたが、後日ロシア人の知り合いにクリスマス料理
をわけてもらい、その国の慣習にふれることができました。Olivier というジャガイモ、ニンジン、キ
ュウリ、えんどう豆、ゆで卵にマヨネーズを加えたサラダ(日本のポテトサラダに似ている)や、
Schuba という赤かぶ、ニンジン、ジャガイモサラダをマヨネーズと混ぜて層のように重ねたサラダ(カ
ブの赤色が印象的で初めはぎょっとしますがとても美味しい)を頂きました。ロシア語の先生の話
によると、ロシアの冬にはこのようなマヨネーズがたっぷり入ったサラダやウォッカなどのアルコー
ル度の強い酒は不可欠ということです。健康にはあまりよい食事内容ではありませんが、ロシアで
はドイツのようにハイキングを行ったり日常的に体を動かす習慣があまりなく、特に男性は寒い日
は家にこもっている人が多いようです。

ロシアによるウクライナ侵攻からもうすぐ一年になります。大学の本館正面には昨年はウクライナの旗がかかっていましたが、今年になりそれが取り外されていました。ウクライナ難民によるドイツの受け入れ態勢の質は、自治体によって大きな差があるようです。イエナでは大学がウクライナからの研究者を招聘したり、先日はドイツ人の本屋の人たちが、難民の子供のためにウクライナから絵本を仕入れ売り出しをしていました。またもともとからイエナに住んでいるウクライナ人やロシア人が協力して様々な催しも開かれています。私はそのうちのウクライナ語のレッスンに参加し、挨拶や自己紹介の仕方を学びました。

戦争に起因する物価の上昇は人々の生活を圧迫しています。食料品は私自身の感覚ですが、戦争前と比較して1.5～1.8倍に上昇しています。例えば以前は49セントであったヨーグルトは、現在88セントで売り出されています。学生寮の家賃も値上げされ、さらに毎月電気・ガス料金を補うための使い費用35ユーロが加算され、イエナの大学生は月約100ユーロ近く追加料金を支払っています。電気代節約のため、大学の食堂の電気や廊下の暖房もオフになっています。一方で厳冬の季節に戦闘による停電で暖房さえもない人たちがいることに非常に心が痛みます。

新しい年である2023年に向けて祈ることは一つ。戦争や貧困や病気など、厳しい環境にある人たちが一刻も早く、少しでもよりよい環境に身を置くことができますように。

追伸:2月に一時帰国し、18日の神戸日独協会による Stammtisch に参加する予定です。

会員の方々と交流できるのを心待ちにしています。

ドイツ語談話室

第218回ドイツ語談話室

日時：2022年12月17日(土)14～16:00

場所：神戸日独協会会議室

テーマ：お気に入りの食べ物

今回の司会は原田耕作氏が担当し、自身のお気に入りの食べ物を紹介した。好みの食べ物はたくさんあるが、簡単に作れて美味しく、かつ栄養価も高いのはイタリア風オムレツである。玉ねぎ、エリンギ、菜の花を軽く炒め、溶き卵にカットトマト、黒オリーブ、アンチョビ、パルメザンチーズを混ぜた中に加えて、フライパンで焼くだけ。すぐにできて美味しい一品。

以下に、参加者の皆さんのお気に入り食べ物に関する発言の一部を紹介する。

- ザツハトルテが好みの一品で、ウインナカフェと一緒に頂く。
- お寿司が大好き。にぎり寿司も巻き寿司も、みんなお気に入り。
- 季節に合った旬の食材で作る料理が好き。初夏のたけのこ料理は絶品。
- 一流レストランの料理よりも、インビスのように気軽なところの料理が好き。特にケバブが美味しい。日本で作っているものも悪くない。
- すべてのお料理が好き。特に、日本のなべ料理は抜群で、ポン酢が良く合う。

— お料理は何でも好き。東北地方で頂いた、すっぽんの雑炊も好きな料理の一品。

海外に行ってもその土地ごとの美味しい料理に出会える。

今回は本年最後の談話室なので、皆さんとグリューワインを温めて楽しんだ。また、きよしこの夜ほかクリスマスソングを合唱して終わった。

今後のドイツ語談話室の予定

第219回 2023年1月21日(土)14~16:00 テーマ : 2023年(うさぎ年)への期待

第220回 2023年2月18日(土)14~16:00 テーマ : 私の好きな芸術的催し物

Protokoll der 218. Deutschen Gesprächsrunde

Zeit: Samstag, 17. Dezember 2022, 14 bis 16 Uhr

Thema: Meine Lieblingsspeise

Diese Mal hatte Herr Kosaku Harada die Gesprächsleitung und stellte zuerst seine Lieblingsspeise vor. Eigentlich hat er viele Lieblingsspeisen, besonders mag er jedoch eine italienische Omelette, die nicht nur einfach zu kochen, sondern auch lecker und reich an Nährstoffen ist. Zunächst muss man Zwiebeln, Kräuterseitling-Pilze und Rapsblüten leicht anbraten. Dann verrührt man in einer Schüssel Eier, Tomaten, schwarze Oliven, Sardellen und Parmesan, und lässt dieses dann in der Pfanne mit dem bereits angebratenen Gemüse garen. Die Zubereitung ist einfach und es ist wirklich köstlich.

Hier einige der Wortmeldungen zum Thema:

-Eine Teilnehmerin mag sehr gern Sachertorten. Wiener Kaffee passt am besten zu Sachertorten.

-Eine andere Teilnehmerin mag Sushi. Ihr schmecken alle Nigiri- und Maki-Sushi.

-Eine Teilnehmerin kocht gerne mit Gemüse aus der Saison. Im Frühsommer schmecken Bambussprossen vorzüglich.

-Eine Teilnehmerin mag das Essen in Imbissstuben lieber als in einem Restaurant. Z.Bsp. isst sie gern Kebab. Kebab ist in Japan auch nicht schlecht.

-Eine andere Teilnehmerin mag alles. Besonders lecker findet sie aber „Nabe Ryori“ (in Suppe gekochtes Gemüse und Fleisch). Dazu passt „Ponzu“, ein Zitrusessig mit dem das Gemüse und Fleisch aus der Suppe beim Essen gewürzt wird.

-Noch eine weitere Teilnehmerin sagte von sich, dass sie alles mag. In der Region Tohoku kann man eine Reissuppe mit Weichschildkrötenfleisch bekommen, die etwas ganz Besonderes ist. Ebenso erfreut sie sich im Ausland an den jeweils regionalen Gerichten.

Am Ende der Gesprächsrunde wurden zusammen Weihnachtslieder gesungen und Glühwein getrunken.

Nächste Treffen:

Samstag, 21. Januar 2023, 14 bis 16 Uhr. Thema: Meine Hoffnungen für 2023, das
“Jahr des Hasen“

Samstag, 18. Februar 2023, 14 bis 16 Uhr. Thema: Welche künstlerischen
Veranstaltungen besuche ich gerne

Stammtisch mit Zoom

2月の Stammtisch mit Zoom のお知らせ

日 時: 2月18日(土)10~11:00

話題提供: 公益財団法人兵庫県国際交流協会事業推進部次長兼交流・協力課長永田 展之氏
「ブラジルのドイツ人コミュニティ」

紹介: 兵庫県ブラジル事務所長として2017年から2022年までパラナ州クリチバ市で駐在。
南米全域を活動範囲とし、主にブラジルでは県産品の販路拡大をはじめ進出企業や姉妹都市、
農業などの交流サポートを実施。この間に見てきたブラジルでのドイツ系社会の様子やドイツ文
化の広がり状況、ドイツ系と日系人ご夫妻がゼロから取り組まれたビール醸造などについてご
紹介して頂きます。 (理事 押尾 愛子)

神戸日独協会 Stammtisch mit ZOOM

<https://us02web.zoom.us/j/85366355191?pwd=N05kSTl1blVhYkNqc2kvQmd5VjlpQT09>

ミーティングID: 853 6635 5191 パスコード: 393924

Stammtisch mit Wein

2月の Stammtisch mit Wein

日 時: 2023年2月18日(土)17:30~19:30

場 所: 神戸日独協会会議室

話 題: 「イエナ便り」を投稿して下さっている会員の竹中ららさんが一時帰国しますので、彼女
を囲んで若者の見たドイツ最新情報を伺います。

会の名称からワインを飲む会ではありません。ドイツでの Stammtisch のようにお好きな飲み物を
取りながら、気楽に会員同士のご歓談をお楽しみいただく会です。奮ってご参加ください。

出席いただける方は、事務局へ電話・メールにてご連絡ください。当日参加も可。

2月の月例懇談会開催のお知らせ

この会は協会と会員との交流のための懇談会です。是非とも参加し、協会の運営や企画などにご意見をください。

日 時： 2023年2月18日(土)16:10～17:15

場 所： 神戸日独協会会議室

話 題： 協会事務所の移転と移転後の事務所の形態について。

大事なテーマですので是非ともご意見を願います」。

ご出席いただける方は、事務室へ電話・メールにてご連絡ください。当日参加も可。

事務室からのお知らせ

新会員紹介(敬称略)

個人準会員 高岡 昭宏

会報印刷・発送ボランティア募集

会報の印刷と発送を手伝ってくださる方を募集しております。是非ともお手伝いをお願いします。次回の印刷と発送は2月27日(月)を予定しています。お手伝いいただける方は事前に事務室へご連絡下さい(TEL078-230-8150)。

印刷： 兵庫県国際交流協会作業室(神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1

国際健康開発センター2階、県立美術館西隣)にて、10:30より1時間半程度

発送： 神戸日独協会にて、12:00～

これからの神戸日独協会の催し

日 時	催 し	会 場	申込〆切 など
2月18日(土) 10:00～11:00	Stammtisch mit Zoom	神戸日独協会会議室	当日参加可
2月18日(土) 14:00～16:00	ドイツ語談話室	神戸日独協会会議室	当日参加可
2月18日(土) 16:10～17:15	月例懇談会	神戸日独協会会議室	当日参加可
2月18日(土) 17:30～19:30	Stammtisch mit Wein	神戸日独協会会議室	当日参加可